

草薙ゼミナール

2010年度 卒業論文集

2011年3月

大阪経済大学 経営情報学部

ビジネス情報学科

指導教員：草薙 信照

草薙ゼミナール 2010年度 卒業論文集

【目 次】

指導教員	草薙 信照	2010年度卒業論文集の刊行に寄せて
M075007	魚住 昌嗣	大阪王将・京都王将の立地に関する考察
M075011	河上 直人	*****
M075013	小林 由佳	宝塚市・西宮市・伊丹市・尼崎市における デイサービスの立地分析
M075014	阪中 万珠	温暖化にみる環境問題について
M075020	ソニコカ	近畿地域における日本語学校の立地
M075029	檜山 貴士	全国の地方新聞
M075033	美崎 真央	京都市におけるパン店の立地
M075041	上浪 沙織	大阪市におけるローソン系列の立地について
M075044	扇原 正史	ガリバーインターナショナルの立地と中古車業界
M075046	大森 達貴	香川県のうどん屋の変遷に関する考察
M075048	岡本 優也	日本列島における地震に関する考察
M075054	小山 貴史	関西・四国・中国における大橋の交通量に関する考察
M075080	井尻 裕喜	牛丼チェーン店の立地から見る経営戦略
M075082	一本 和樹	*****
M075096	高橋 勇二	大阪市内における超高層マンションの立地条件に関する分析
M075098	瀧ヶ平 茂俊	高槻市における歯科診療所の分布について
M075100	坪田 恭平	奈良県における財政に関する考察
M075125	大井 あゆみ	大阪城とその周辺の移り変わり
M075136	瀬川 寛	大阪府内に立地する国公立大学への 通いやすさに関する考察
M075140	西岡 朋宏	全国における名水 100 選について

「2010年度卒業論文集の刊行に寄せて」

2011年3月 草薙 信照

2005年度から経営情報学部がビジネス情報学科とファイナンス学科の2学科構成となったことから、諸君は“ビジネス情報学科の第三期卒業生”、そして草薙ゼミとしては通算“第11期生”ということになる。

「データマップ；デジタル地図を通して世界を見てみよう」という看板に集まってくれた諸君に対しては、2年半という時間をかけて“厳しく鍛えてあげよう”と接してきたのだが、さて、何人が正面からそれを受け止めてくれたのだろうか。20名（最終的には18名）の諸君とは、ゼミコンパや3年生冬の北海道合宿、4年生秋の鈴鹿合宿などを通じて、あるいは就職活動期における個別面談等を通じて、大きな信頼関係を築くことができたと信じている。そして、卒論提出が目前になってから（あるいは締切を過ぎてからも）は、毎回のよう夜遅くまでゼミ室に残り（こっそりとお菓子などをつまみながら）、やる気と熱気に包まれた空気を諸君と共有できたことも、今となっては良き思い出のひとつである。

さて、卒業論文の総評である。ここに並んだテーマだけを見れば、“データマップに関する卒業研究”の名に恥じない素晴らしいものばかりであり、過去の論文集と比べても遜色のない、とてもまとまりのある論文集ができあがったといえそうである。しかしながらその実態は・・・“こんなにしんどい卒論指導は、かつて無かった”と述べた昨年よりも、さらにしんどいものであった。それだけに、私にとっても完成の喜びは大きいものがある。

共通テーマという縛りの中で、各人が興味のあるテーマを自ら選んだことで、辛い作業に耐えて、なんとか完成にこぎつけられたのではないだろうか。諸君の独創的な発想に出会い、一緒に考える機会を得たことは、私にとっても良い勉強になったと感謝している。

毎年、完成した後だからこそ言うことであるが、私が卒業論文の意義としてもっとも重要だと考えているのは、卒業研究のテーマや論文の出来栄ではない。自分が選んだ1つのテーマに対してこれほど真剣に取り組んで考え、苦労しながらも論文という形にまとめたということが、間違いなく諸君を大きく成長させたであろうという点である。したがって、一生懸命に取り組んだという姿勢がひしひしと伝わってくる限り、その論文は何物にも替え難い貴重な宝物であると言ってあげたい。個々の論文の評価は、その価値を最もよく知っているはずの自分自身、そしてこの本を手にした読者の方々に委ねたいと思う。

大学生活4年間の集大成として卒業研究という大仕事をやり遂げた経験は、必ずや、これから社会人として人生に立ち向かっていく中で自信につながるだろう。そして10年後あるいは20年後にこの本を開いた時、懐かしく良き思い出として、諸君の心に鮮やかによみがえるに違いない。

今後は同じ社会人として対等に、あるいは時を経て私を導いてくれるようなつきあいをしたいけるならば、教師としてこれにまさる幸せはない。諸君の今後の人生における健闘を期待する。